

ナビの特徴

あなたやあなたの家族が患者になったときのために、医療のしくみや医療保険など知っておきたい情報をご案内します。

身近で起こり得る突然の事例をもとに物語が進み、それぞれの場面で必要となる医療に関する知識が学べます。

ナビの掲載内容

「こどもの発熱」では発熱(髄膜炎)、「高齢者の骨折」では大腿骨頸部骨折、「脳卒中編」では家族の突然の脳卒中をとりあげ、物語を進めています。

こどもの発熱	高齢者の骨折/脳卒中編
<p>シーン1: 夕方急に発熱</p> <p>夜間の受診のしかた 救急車の呼び方など</p>	<p>シーン1: 転んで骨折/急に倒れる</p> <p>救急のときの対応のしかた 救急車の呼び方など</p>
<p>シーン2: 診療所から救急病院へ</p> <p>地域での医療連携 (なぜ病院へ移るのか) かかりつけ医・歯科医</p>	<p>シーン2: 入院</p> <p>入院時に必要な書類 インフォームドコンセント セカンドオピニオンなど 医師にかかる際の10か条</p>
<p>シーン3: 入院</p> <p>入院時に必要な書類 インフォームドコンセント セカンドオピニオンなど 医師にかかる際の10か条</p>	<p>シーン3: 医療費の請求</p> <p>医療費の一部負担金など 公的医療保険のしくみ</p>
<p>シーン4: 医療費の請求</p> <p>医療費の一部負担金など 公的医療保険のしくみ</p>	<p>シーン4: 病院を転院</p> <p>地域での医療連携 (なぜ転院するのか) かかりつけ医・歯科医</p>
<p>シーン5: 育児情報</p> <p>東京都の相談窓口、情報提供 医療費の助成</p>	<p>シーン5: 退院後の生活</p> <p>リハビリテーション医療 在宅医療、在宅介護サービス</p>

冊子は Web サイトから印刷してください。

保健や医療に関する情報・相談窓口は？

医療機関や薬局の情報	ひまわり(東京都医療機関案内サービス) ☎03-5272-0303 http://www.himawari.metro.tokyo.jp/ 東京消防庁救急相談センター(＃7119) 23 区 ☎03-3212-2323 多摩地区 ☎042-521-2323 t-薬局いんぷお(薬局機能情報提供システム) http://www.t-yakkyokuinfo.jp/
民間救急搬送サービス(有料)	東京民間救急コールセンター ☎0570-039-099
在宅介護などの在宅でのサービス	介護事業者検索サービス http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/kohyo/
患者相談窓口	医療安全支援センター「患者の声相談窓口」 東京都 ☎03-5320-4435 西多摩保健所 ☎0428-20-2113 南多摩保健所 ☎042-310-1844 多摩立川保健所 ☎042-526-3063 多摩府中保健所 ☎042-362-4691 多摩小平保健所 ☎042-450-3222
AIDS、インフルエンザなどの感染症情報	東京都感染症情報センター http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/
病気の症状、治療の情報	日本医療機能評価機構(Minds)など http://minds.jcqhc.or.jp/

子供を健やかに育てるための情報・相談窓口は？

子どもの健康、育児相談、小児救急相談	母と子の健康相談室(小児救急相談＃8000) ☎03-5285-8898
病気やけがの対処法、病気の基礎知識	東京都子ども医療ガイド http://www.guide.metro.tokyo.jp/
児童の養育・しつけ・発達等の相談	児童相談センター電話相談室 ☎03-3202-4152
難病相談	東京都難病相談・支援センター ☎03-3446-0220

東京都福祉保健局医療政策部医療政策課
☎ 03 - 5320 - 4448

発行日 平成23年12月発行

登録番号 (23) 233 再生紙を使用しています。

知って安心 暮らしの中の医療情報ナビ

脳卒中編

外出中夫が突然倒れた！

こどもの発熱

子どもが夕方急に発熱！

高齢者の骨折

祖母が転んで動けない！

知りたかった
医療のしくみを
お答えします。



くわしくはここにアクセス

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/inavi/>

東京都



夜間の受診、どうしたらいいの？

東京都医療機関案内サービスひまわり(毎日24時間)

○診療中の医療機関を電話とインターネットで案内します。

☎03-5272-0303

http://www.himawari.metro.tokyo.jp/



東京消防庁救急相談センター(毎日24時間)

○救急車を呼ぼうかどうか迷った場合に相談できます。

#7119

23 区 ☎03-3212-2323

多摩地区 ☎042-521-2323

小児救急相談

○母と子の健康や病気、救急相談に対応します。

#8000または☎03-5285-8898

月曜日～金曜日17:00～22:00

土曜・日曜日、祝日、年末年始9:00～17:00

救急車の呼び方は？

緊急な場合は救急車を呼びましょう。119番に電話をかけると、次のことを聞かれます。

あらかじめ確認しておきましょう。

- ① 「火事ですか、救急ですか？」
- ② 「どうしましたか？」
- ③ 「何か目標(目印)はありますか？」



緊急な場合 一例

(乳 幼 児)38度以上の発熱で顔色が悪い、ぐったりして意識がない(頭痛など)強烈な頭痛と吐き気、手足の急激なマヒ

救急車の利用について

東京都の救急車の出場件数(平成20年)

653,260件(48秒に1回出場)

緊急性のない利用が増えていきます。本当に必要とする患者さんのために適正利用を心がけましょう。

程度別搬送人数(平成20年)

総数 583,082人

重症 30,753人
重篤 14,603人
死亡 4,521人



窓口で支払う医療費の内訳は？

あなたが窓口で支払う医療費の内訳は



医療費の一部負担金

+

食事・生活療養負担金
入院した場合にかかる経費です。

+

保険外併用療養費など

保険

保険外

《 保険外併用療養費 》

代表的なものに「差額ベッド代」があります。

・差額ベッド代(特別の療養環境の提供)

個室などを患者が希望すると、医療機関が定めた額を負担しなければなりません。

※「治療上の必要」で差額ベッド代の対象となる病室へ入院した場合など、差額ベッド代を負担しなくてもよい場合があります。

◆症状が軽く自分で歩いて医療機関に行かれる

- かかりつけ医に相談、医療機関案内サービス「ひまわり」で医療機関を探し受診
- 身近な救急医療(初期救急医療)を受診
 - ・地域の休日当番医(「ひまわり」でも探せます)
 - ・区市町村の小児初期救急医療や休日夜間診療を行う医療機関(広報誌やホームページで確認しておきましょう。)

◆緊急でないが患者を運びたい(転院・退院など)

民間会社が救急搬送サービス(有料)を行っています。(情報は裏面に)

《 医療費の一部負担金 》

医療費は患者がその一部を自己負担し、残りは医療保険から支払われます。

医療費の患者負担割合

義務教育就学前(6歳・3月まで)	2割 (※東京都では⑩で自己負担なし)
義務教育就学児(6歳・4月～15歳・3月)	3割 (※東京都では⑨で医療費助成)
15歳・4月～70歳未満	3割
70～74歳	2割(平成23年3月までは1割) (※一定額以上所得者は3割)
75歳～(後期高齢者医療制度)	1割 (※一定額以上所得者は3割)

※くわしい内容や手続きはお住まいの区市町村にお問い合わせください。

高額な医療費がかかったら

同じ月に一定額(自己負担限度額)を超えた医療費は医療保険から支払われます。自己負担限度額は対象者の年齢や所得、世帯構成などによって異なります。ご自分の医療保険の担当部署にお問合せください。

自己負担限度額の一例(月額)

<70歳未満の場合:一般>

80,100円+(医療費-267,000)×1%

<70歳～74歳の場合:一般>

12,000円 (外来:個人ごとで計算)

44,400円 (外来+入院:世帯ごとに計算)

一定額以上の収入のある場合、区市町村民税非課税の場合などは異なります。

◆保険外の経費や入院時の食事は対象外となります。

◆事前に手続きをして入院時の窓口の支払いを自己負担限度額までとすることもできます。